



# インストール

この章では次の内容について説明します。

- [インストールの準備](#)
- [ルータの損傷の防止](#)
- [ルータのインストール](#)
- [ルータの動作確認](#)
- [ルータの設置](#)
- [Web サイトへの接続](#)
- [Web サイトに接続できない場合の対応](#)

## インストールの準備

ここでは、安全上の注意事項、ルータの設置、ルータのボックスの開梱について説明します。

### 安全上の注意事項

ここでは、Cisco 831 および SOHO 91 ルータに適用される安全上の警告と、静電気およびルータの損傷について説明します。

#### 警告

ルータのインストールを始める前に、次の警告をお読みください。



警告

インストール手順を読んでから、システムを電源に接続してください。



警告

この装置の設置、交換、または保守は、訓練を受けた相応の資格のある人が行ってください。



警告

ルータ内部には、ユーザ側で保守可能な部品はありません。メンテナンス作業は、必ず資格のある担当者に依頼してください。



警告

シャーシまたは電源装置付近での作業を行う前に、AC 装置の電源コードを外し、DC 装置の回路ブレーカーの電源を切ってください。

**警告**

この装置は、アースされていることが前提になっています。通常の使用時には必ず装置がアースされているようにしてください。

**警告**

この製品は設置する建物に回路短絡（過電流）保護機構が備わっていることを前提に設計されています。このため、屋内配線には必ず、米国では 120 VAC、15 A、その他の国では 240 VAC、10 A 以下のヒューズまたは回路ブレーカーを使用してください。

**警告**

電源に接続されている装置を扱う場合は、事前に指輪、ネックレス、腕時計などの装身具を外しておいてください。これらの金属が電源やアースに接触すると、金属が過熱して重度のやけどを負ったり、金属類が端子に焼き付くことがあります。

**警告**

[10BaseT]、[100BaseTX]、[10/100] と表示のあるポートは、Safety Extra-Low Voltage (SELV) 回路です。SELV 回路は他の SELV 回路にだけ接続してください。この回路は、Telephone Network Voltage (TNV; 電話網電圧) 回路に接続しないでください。

**警告**

感電事故を防ぐため、SELV 回路を TNV 回路に接続しないでください。LAN ポートには SELV 回路、WAN ポートには TNV 回路が使用されています。LAN ポートおよび WAN ポートには、どちらも RJ-45 コネクタが使用されている場合があります。ケーブル接続には注意してください。

**警告**

雷が発生しているときには、システムに手を加えたり、ケーブルの接続や取り外しを行ったりしないでください。

**警告**

この装置は、停電した場合に緊急通話を行うように設計されていません。緊急サービスにアクセスする場合は、別の処置が必要です。緊急サービスへのアクセスは、この装置の通話制限機能の影響を受けることがあります。

**警告**

ポート上の適合マークに斜線が引いてある (⊗) 場合は、そのポートを欧州連合格格に準拠する公衆網に接続することはできません。このタイプの公衆網に接続すると、ご使用のルータに重大な損傷が発生する危険性があります。

**警告**

スタンバイ / オフ スイッチのあるシステムの場合は、作業の前に電源スイッチをスタンバイの位置に押し、電源をオフにし、電源コードを外してください。

**警告**

この製品を廃棄処分する際には、各国の法律または規制に従って取り扱ってください。

**警告**

火災の危険性を減らすため、通信回線のコードには 26 AWG 以上を使用してください。

**警告**

この装置は、リング信号生成装置（リング）が内蔵されているため、危険な電圧の発生源となります。リングがアクティブな状態のときに、RJ-11（電話）ポートのワイヤ（導体）、RJ-11 ポートに接続されているケーブルの導体、対応する回路ボードには触れないでください。リングは、着信コールによってアクティブになります。

**警告**

作業中は、カードの静電破壊を防ぐため、必ず静電気防止用リストストラップを着用してください。感電する危険があるので、手や金属工具がバックプレーンに直接触れないようにしてください。

## 静電破壊の防止

ESD（静電気放電）とは、オペレータと電気機器のような、異なる静電位を持つ物体間で起こる静電荷の移動です。ESD は電子コンポーネントの取り扱いが不適切な場合に発生し、装置や電気回路を損傷することがあります。合成繊維と乾燥した空気という条件が重なると ESD は発生しやすくなります。

コンポーネントの取り外しおよび取り付け時には、次に示す ESD 防止手順に必ず従ってください。

**ステップ 1** 静電気防止用リストストラップを肌に密着させて着用します。

**注意**

ESD による機器の損傷や感電事故を防ぐには、リストストラップやコードが効果的に機能しなければなりません。必ず前の**警告**に記載されている注意事項に従ってください。

**ステップ 2** ケーブルが接続されていないインターフェイスポートの露出したコンタクトピンやコネクタシェルには絶対に触れないでください。

ケーブルの一端しか接続されていない場合は、未接続のケーブル端の露出ピンに触れないように注意してください。この装置は、住宅地や商業環境のみでの使用を想定して設計されています。



### 注意

静電気防止用ストラップの抵抗値を定期的にチェックしてください。抵抗値は 1 ~ 10 MΩ でなければなりません。

## ボックスの開梱

表 2-1 に、ルータの付属品を示します。これらの付属品はすべて、ルータと同梱されているアクセサリ キットに含まれます。欠品や破損品がある場合は、カスタマー サービス担当者にご連絡ください。

**表 2-1 ルータの付属品**

- |   |
|---|
| • 電源コード (ブラック)  |
| • デスクトップ型電源装置   |
| • RJ-45/DB-9 のコンソール ケーブル (ライトブルー)                               |
| • ダイアル バックアップおよびリモート管理用の RJ-45/DB-25 の非同期モデム ケーブル (ライトブルー、別途発注) |
| • イーサネット ケーブル (イエロー) × 2  |
| • 製品マニュアル   |

インストールの準備には、次の作業を行います。

**ステップ 1** サービス プロバイダーとブロードバンドまたはイーサネット接続を行います。

**ステップ 2** ポリ袋からイエローのイーサネット ケーブル、ライトブルーのコンソール ケーブルを取り外し、製品マニュアルを取り出します。アクセサリ キットからデスクトップ型電源装置とブラックの電源コードを取り出します。ルータに接続するイーサネット装置(ハブ、サーバ、ワークステーション、または PC)を用意します。

- ステップ3** コンソールポート経由で IOS コマンドを使用してソフトウェアを設定する場合は、コンソールポートに接続する端末または PC を用意します。
- ステップ4** ケーブルロック機能を使用する場合は、Kensington または同等のロックケーブルを用意します。
-

## ルータの損傷の防止

ルータに装置を接続する場合は、次の注意事項に従ってください。

- ・ シスコ社製の色分けされたケーブルを背面パネル上の同じ色のポートに接続します。
- ・ お手持ちのケーブルを使用する場合は、付録 A 「仕様およびケーブル」を参照してください。この付録で特定のケーブルについて仕様の記載がない場合は、シスコシステムズでケーブルを購入されることを推奨します。

## ルータのインストール

ルータをインストールするには、次の順序で以下の作業を行います。

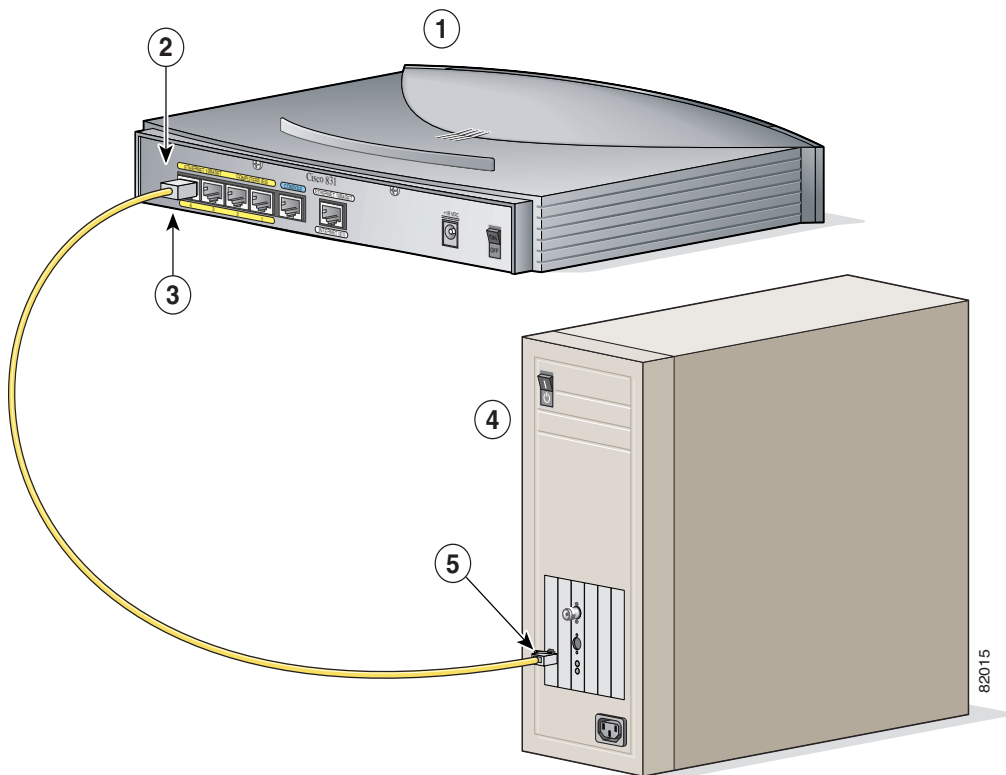
1. ルータにイーサネット装置を接続します。
2. ブロードバンド モデムまたはイーサネット スイッチにルータを接続します。
3. ルータに端末または PC を接続します (CLI [コマンドライン インターフェイス] を使用してソフトウェアの設定やトラブルシューティングを行うため)。
4. ルータを電源に接続します。
5. ルータのインストールを確認します。
6. ルータを設置します。

## サーバ、PC、またはワークステーションの接続

図 2-1 に、PC に接続した Cisco 831 ルータを示します (図 2-1 で示しているのは Cisco 831 ルータですが、この図は SOHO 91 ルータにも適用されます)。内蔵イーサネット スイッチ ポート 4 にこれらの装置のいずれかを接続するには、図 2-1 のあとに記載した手順を実行します (この接続手順は Cisco 831 ルータおよび SOHO 91 ルータの両方に適用されます)。



図 2-1 サーバ、PC、またはワークステーションの接続



1	Cisco 831 ルータ	4	PC
2	イエローのイーサネット ケーブル	5	NIC(ネットワーク インターフェイス カード) 上の RJ-45 ポート
3	ルータ上のイーサネット スイッチ ポート 4		

次の手順で、内蔵スイッチのポート4にPCを接続します。

- 
- ステップ1** ルータ上の内蔵イーサネットスイッチポート4にイエローのイーサネットケーブルの一方の端を接続します。
- ステップ2** もう一方の端をPC、サーバ、またはワークステーションに搭載したNICのRJ-45ポートに接続します。
- 



**(注)** ルータに接続しているPCは、ルータのインストールが完了するまで電源をオフのままにしておきます。

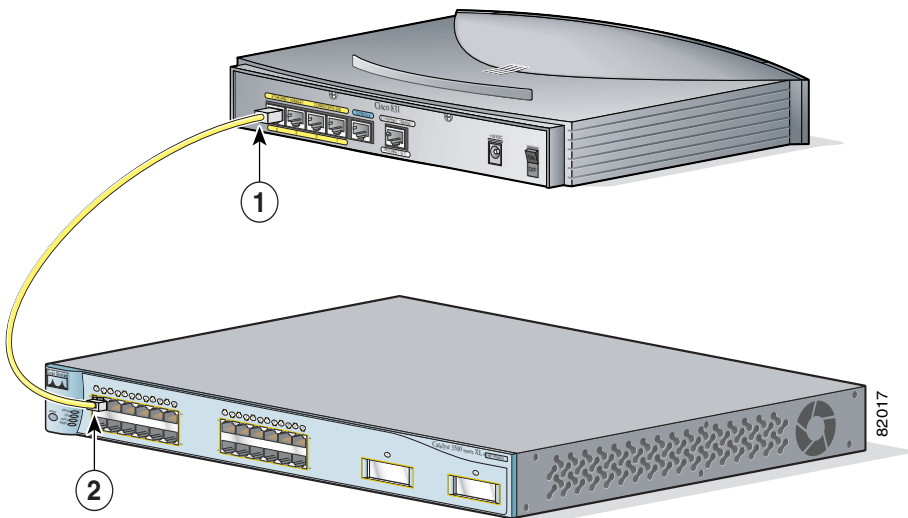
---

内蔵イーサネットスイッチポート1～3に、サーバ、PC、またはワークステーションを追加で接続できます。

## 外付けイーサネットスイッチの接続（任意）

オフィスで5台以上のPCを相互に接続する必要がある場合は、ルータの内蔵スイッチに外付けイーサネットスイッチを接続して、ルータに追加のイーサネット接続を設定できます。ルータの内蔵イーサネットスイッチポートに外付けイーサネットスイッチを接続するには、[図 2-2](#)のあとに記載した手順を実行します（[図 2-2](#)で示しているのはCisco 831ルータですが、この図はSOHO 91ルータにも適用されます。この接続手順はCisco 831ルータおよびSOHO 91ルータの両方に適用されます）。

図 2-2 イーサネット スイッチへの接続



<b>1</b>	ルータ上のイーサネット スイッチ ポート 4	<b>2</b>	外付けイーサネット スイッチの利用可能なポート
----------	------------------------	----------	-------------------------

次の手順で、外付けイーサネット スイッチにルータを接続します。

**ステップ 1** ルータ上の内蔵イーサネット スイッチ ポート 4 にイエローのケーブルの一方の端を接続します。

**ステップ 2** イーサネット スイッチの利用可能なポートにケーブルのもう一方の端を接続して、追加のイーサネット接続を設定します。

イーサネット スイッチの電源が入っていない場合は投入します。

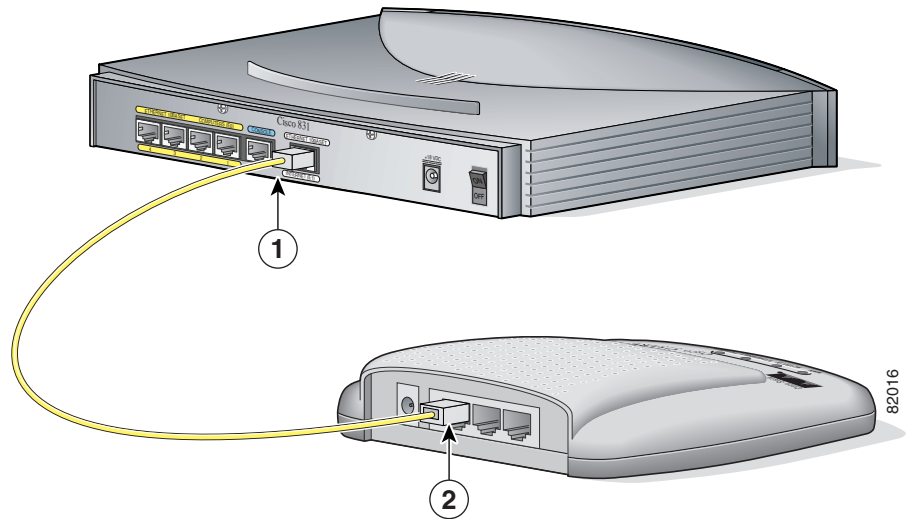
## インターネットへの接続

設置済みのブロードバンド モデムを使用してインターネットに接続できます。

### ブロードバンド モデムの接続

設置済みの DSL、ケーブル、または長距離イーサネット モデムを接続するには、[図 2-3](#) のあとに記載した手順を実行します ([図 2-3](#) で示しているのは Cisco 831 ルータですが、この図は SOHO 91 ルータにも適用されます。この接続手順は Cisco 831 ルータおよび SOHO 91 ルータの両方に適用されます)。

**図 2-3** ブロードバンド モデムへの接続



<b>1</b>	Cisco 831 ルータのイーサネット インターネット ポート	<b>2</b>	モデム上の利用可能なポート
----------	-------------------------------------	----------	---------------

次の手順で、設置済みの DSL、ケーブル、または長距離イーサネット モデムを接続します。

---

**ステップ 1** イエローのケーブルの一方の端をルータのイーサネット インターネット ポートに接続します。

**ステップ 2** モデム上の利用可能なポートにケーブルのもう一方の端を接続します。

---

接続するモデムのポートを調べるには、ご使用のブロードバンド モデムに付属のマニュアルに記載されている手順に従ってください。ブロードバンド モデムの電源が入っていない場合は、投入します。



(注)

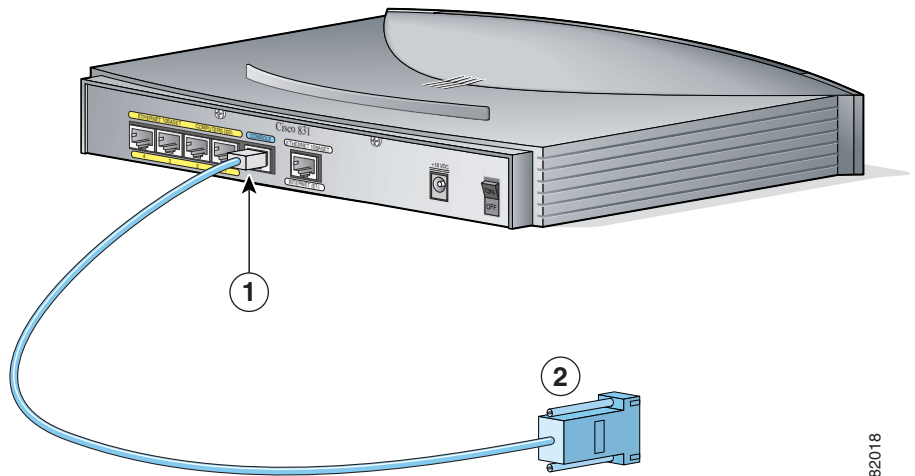
出荷時のデフォルトの設定でインターネットに接続できない場合は、Cisco Router Web Setup (CRWS) ソフトウェアを使用してルータを設定することを推奨します。CRWS ソフトウェアは出荷時にルータにプリインストールされています。CRWS ソフトウェアの起動手順については、「[Web サイトに接続できない場合の対応](#)」(p.2-26)を参照してください。

---

## コンソール ポートへの端末または PC の接続

コンソール ポートはサービス ポートで、CLI を使用してソフトウェアを設定したり、ルータでの問題をトラブルシューティングしたりするため、端末または PC を接続できます。コンソール ポートに端末または PC を接続するには、[図 2-4](#)のあとに記載した手順を実行します ([図 2-4](#)で示しているのは Cisco 831 ルータですが、この図は SOHO 91 ルータにも適用されます。この接続手順は Cisco 831 ルータおよび SOHO 91 ルータの両方に適用されます)。

図 2-4 コンソールポートへの端末または PC の接続



82018

<b>1</b>	ルータ上のコンソールポート	<b>2</b>	DB-9 コネクタ
----------	---------------	----------	-----------

次の手順で、端末または PC にルータのコンソールポートを接続します。

- ステップ 1** ライトブルーのケーブルの RJ-45 コネクタをルータのコンソールポートに接続します。
- ステップ 2** 端末または PC に DB-9 コネクタを接続します。

## AC アダプタの接続

AC アダプタを接続するには、[図 2-5](#) のあとに記載した手順を実行します ([図 2-5](#) で示しているのは Cisco 831 ルータですが、この図は SOHO 91 ルータにも適用されます。この接続手順は Cisco 831 ルータおよび SOHO 91 ルータの両方に適用されます)。



警告

この装置は TN 電源システムで動作するように設計されています。



警告

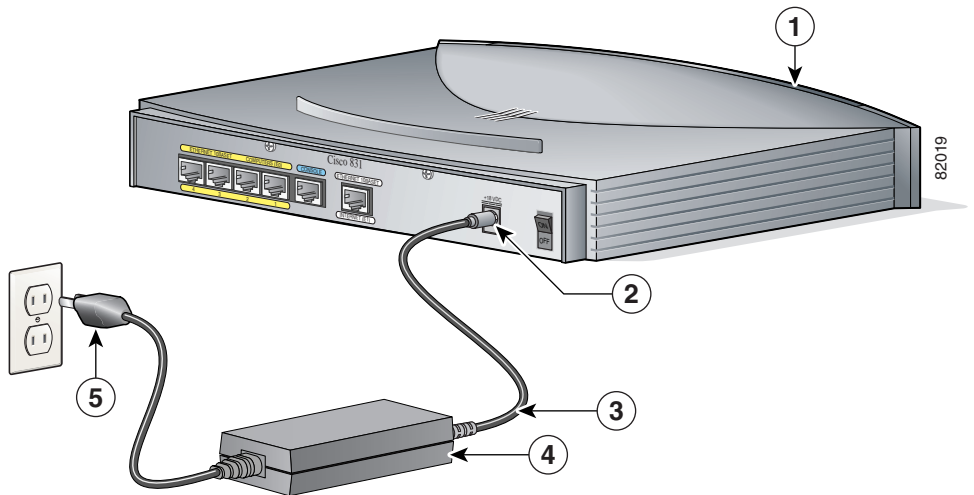
この製品は設置する建物に回路短絡 (過電流) 保護機構が備わっていることを前提に設計されています。このため、屋内配線には必ず、米国では 120 VAC、15 A、その他の国では 240 VAC、16 A 以下のヒューズまたは回路ブレーカーを使用してください。



警告

この装置は、アースされていることが前提になっています。通常の使用時には必ず装置がアースされているようにしてください。

図 2-5 AC アダプタの接続



1	Cisco 831 ルータ	4	デスクトップ型電源アダプタ
2	ルータの入力ジャック	5	電源コードプラグ
3	電源コード		

次の手順で、AC アダプタにルータを接続します。

- 
- ステップ 1** 電源コードの一方の端をルータの入力ジャックに接続します。
- ステップ 2** 電源コードのもう一方の端をデスクトップ型電源アダプタに接続します。
- ステップ 3** デスクトップ型電源アダプタの電源コードをコンセントに差し込みます。
-



## 非同期モデムへのコンソールポートの接続

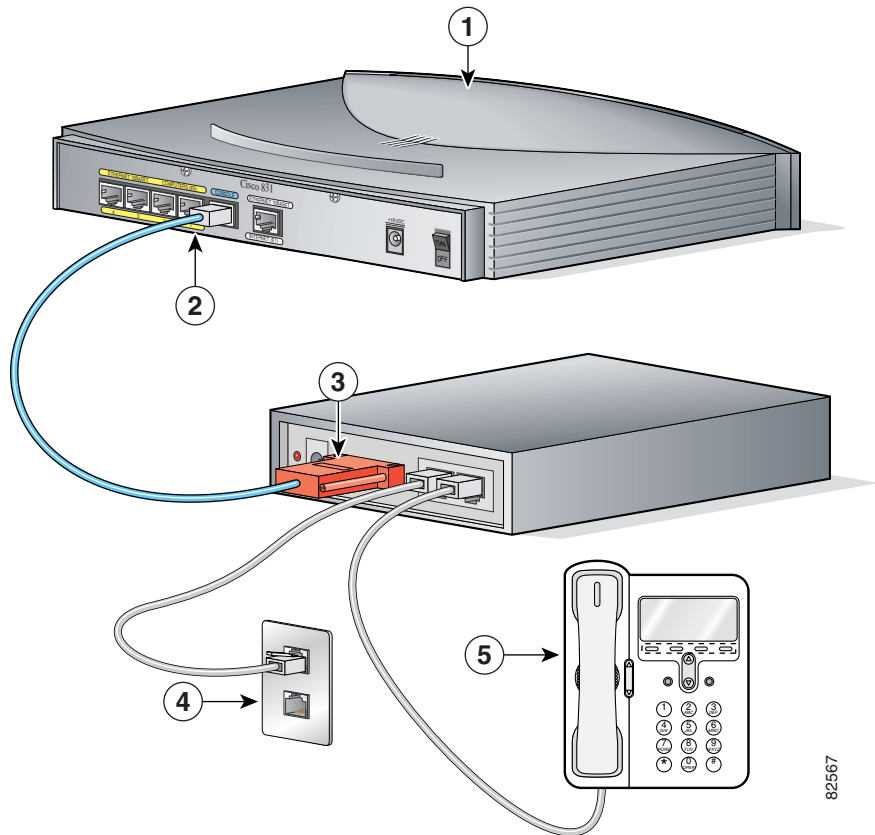
Cisco 831 ルータは、ダイヤルバックアップ機能付きで設計されており、これにより ADSL サービスがダウンした場合の WAN ポートへのバックアップリンクとしてコンソールポートにアナログモデムを接続できます。Cisco 831 ルータは、ダイヤルバックアップおよびリモート管理機能をサポートしますが、SOHO 91 ルータがサポートするのは、リモート管理機能だけです。



**(注)** コンソールポートにアナログモデムを接続するには、オプションの SOHO/800 シリーズ ルータ モデム ケーブルが必要です。このケーブルの発注については、ルータのバンダーにお問い合わせください。

非同期モデムに Cisco 831 ルータのコンソールポートを接続するには、[図 2-6](#) のあとに記載した手順を実行してください。この接続手順は、Cisco 831 ルータにだけ適用されます。

図 2-6 非同期モデムへのコンソールポートの接続



82567

1	Cisco 831 ルータ	4	ウォール ジャック
2	ルータのコンソール ポート	5	電話機
3	非同期モデム上の利用可能なポート		

次の手順で非同期モデムに Cisco 831 ルータのコンソール ポートを接続します。

- 
- ステップ 1** SOHO/800 シリーズ ルータ モデム ケーブルの RJ-45 側を Cisco 831 ルータのコンソール ポートに接続します。
- ステップ 2** SOHO/800 シリーズ ルータ モデム ケーブルの DB-25 側を非同期モデムの利用可能なポートに接続します。
- ステップ 3** RJ-11 ケーブルの一方の端をウォール ジャックに接続します。
- ステップ 4** RJ-11 ケーブルのもう一方の端を電話回線に接続します。
-

## PC 設定の確認

ルータに接続した各 PC は、TCP/IP を使用し、DHCP を使用して自動的に IP アドレスを取得するように設定する必要があります。次の手順で Microsoft Windows NT や Microsoft Windows 95、98、または 2000 稼働の各 PC を設定します。それ以外の異なるバージョンの Microsoft Windows 稼働 PC の場合は、PC に付属のマニュアルを参照してください。

- 
- ステップ 1** PC を起動してコントロールパネルを開きます。
  - ステップ 2** [ネットワーク] アイコンをクリックして [ネットワーク] ウィンドウを表示します。
  - ステップ 3** TCP/IP が追加され、イーサネット アダプタと関連付けられていることを確認します。TCP/IP は、Microsoft Windows 95、98、および 2000 では、[設定] ウィンドウに、Microsoft Windows NT では [プロトコル] ウィンドウに、それぞれケーブルアイコンとして表示されます。アイコンが表示されない場合は、[追加] をクリックして Microsoft TCP/IP を追加します。
  - ステップ 4** 自動的に IP アドレスを取得するように PC が設定されていることを確認するには、TCP/IP ケーブルアイコンをクリックして、[TCP/IP プロパティ] ウィンドウの [IP アドレス] タブを選択します。[DHCP サーバから IP アドレスを取得する] にチェックが付いていない場合は付けます。[IP アドレス] および [サブネットマスク] のフィールドはグレー表示されているはずですが。
  - ステップ 5** すべての変更を承認してこのウィンドウを終了するには、**OK** をクリックします。次に [ネットワーク] ウィンドウの **OK** をクリックします。
  - ステップ 6** 確認を求められたら、[Yes] をクリックして PC を再起動します。
- 

TCP/IP の設定手順の詳細については、Cisco.com で『Cisco Router Web Setup Troubleshooting Guide』を参照してください。

## ルータの動作確認

すべての PC がルータに正しく接続され、ルータがブロードバンドモデムまたはイーサネットスイッチに正しく接続されていることを確認するには、接続している全装置の電源を入れ、表 2-2 を使用して、LED をチェックすることによりルータが正常に動作することを確認します。

表 2-2 ルータの動作確認

電源 / リンク先	チェックする LED	正常なパターン
電源	OK	ルータに電力が供給されると点灯
内蔵イーサネットスイッチのポート 1 ~ 4 のいずれかに接続したサーバ、PC、またはワークステーション	COMPUTERS 1 ~ 4  INTERNET RXD  INTERNET TXD	<ul style="list-style-type: none"> <li>LAN ポートがサーバ、PC、またはワークステーションに物理的に接続すると、COMPUTERS 1 ~ 4 のいずれかが点灯</li> <li>内蔵イーサネットスイッチのポートがイーサネットパケットを受信すると、INTERNET RXD が点滅</li> <li>内蔵イーサネットスイッチのポートがイーサネットパケットを送信すると、INTERNET TXD が点滅</li> </ul>
ブロードバンドモデムまたは外付けイーサネットスイッチ	ETHERNET WAN  WAN RXD  WAN TXD	<ul style="list-style-type: none"> <li>ETHERNET WAN ポートがブロードバンドモデムまたは外付けイーサネットスイッチに物理的に接続すると、ETHERNET WAN が点灯</li> <li>ETHERNET WAN ポートがイーサネットパケットを受信すると、WAN RXD が点滅</li> <li>ETHERNET WAN ポートがイーサネットパケットを送信すると、WAN TXD が点滅</li> </ul>

## ルータの設置

ルータは次のいずれかに設置できます。

- 卓上またはその他の平面
- 壁面またはその他の垂直面

### 卓上への設置

卓上にルータを固定させて置き、「ルータのインストール」(p.2-8)に記載されている手順を実行します。ルータの側面にある通気口をおおったりふさいだりしないでください。

**注意**

ルータの通気口をおおったりふさいだりしないでください。過熱状態になり、ルータが損傷することがあります。

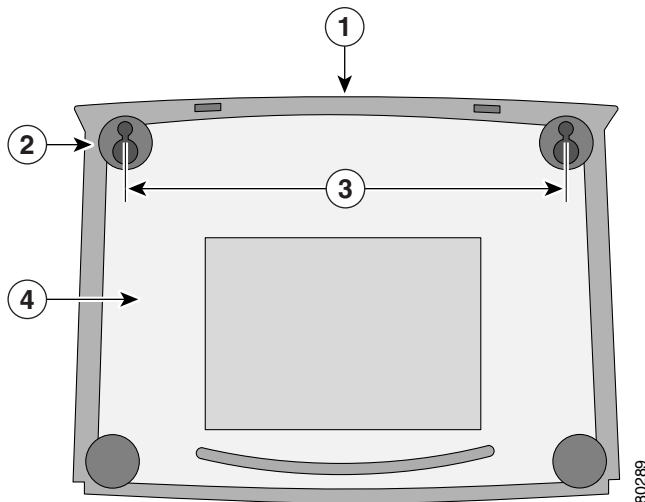
### 壁面への設置

ルータ底面のモールド マウント ブラケットと No.6 の 3/4 インチ (M3.5 x 20 mm) ネジ 2 本を使用することにより、壁面またはその他の垂直面にルータを設置できます。ネジはユーザ側で用意する必要があります。図 2-7 に、マウント ブラケットを示します。

**注意**

ルータを設置する壁面が乾式壁の場合は、ネジを固定する中空壁アンカー (5/16 インチのドリル ビット付き 1/8 インチ、または 8 mm のドリル ビット付き M3) を 2 個使用します。ネジがしっかり固定されていないと、ネットワーク ケーブルの接続によって力がかかりルータが壁から外れることがあります。

図 2-7 壁面設置用ブラケット（ルータ底面）



1	ルータの前面パネル	3	2つのマウントブラケット間の距離 (7 5/8 インチ [19.35 cm])
2	マウントブラケット	4	ルータ底面

ルータを設置する場合は、次の条件を満たしている必要があります。

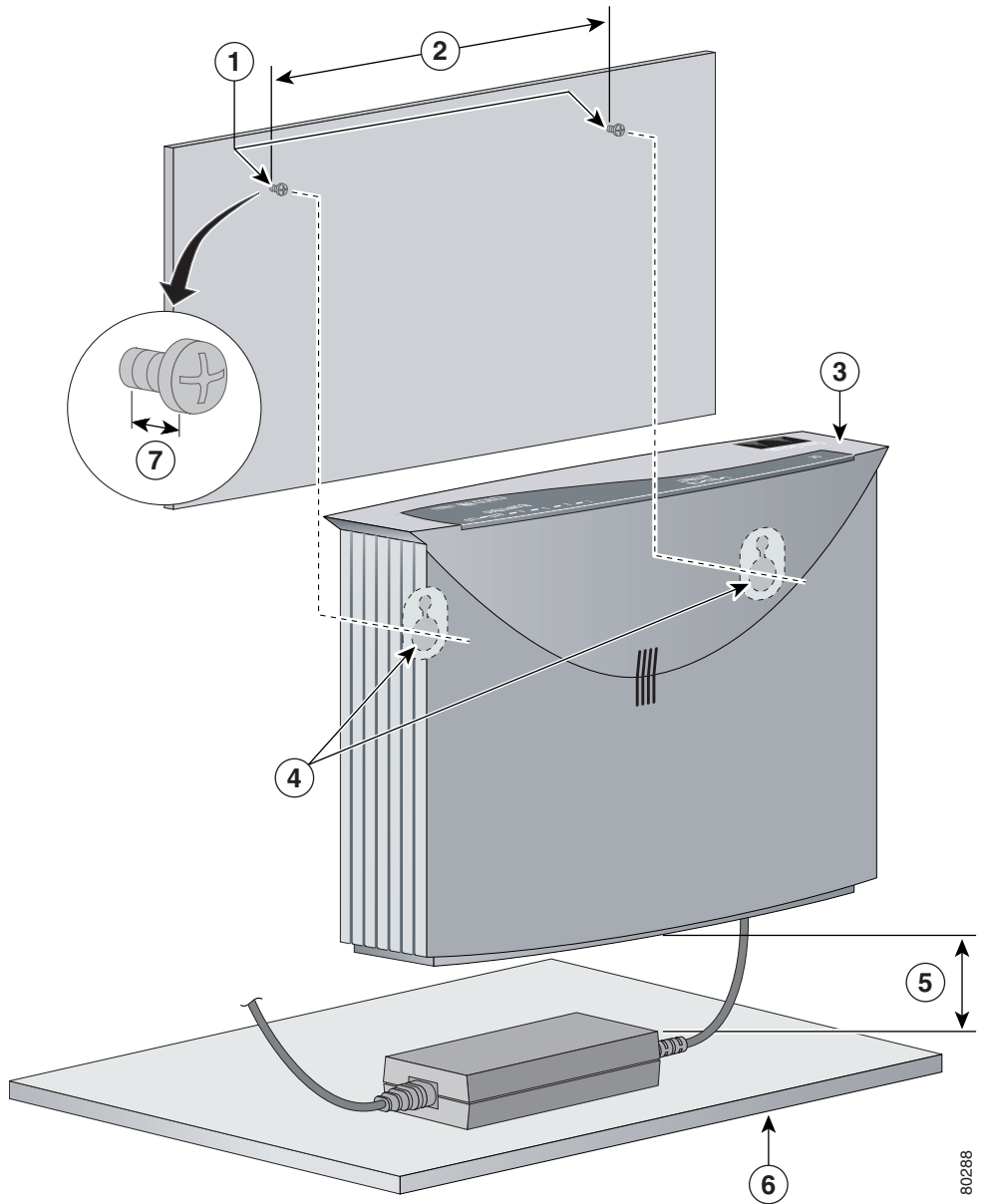
ステータスや問題のインジケータとして LED を使用するの、前面パネルは上向きにしてすぐに見えるようにする必要があります。

ルータは、問題のトラブルシューティングが必要な場合に LED がよく見える高さに設置します。

電源装置は床や卓上などの平面に置いてください。電源装置が平面で支えられていないと、電源装置のケーブルに無理な力がかかり、ルータの背面パネルのコネクタから電源装置が外れることがあります。

ルータを設置するには、[図 2-8](#) のあとに記載した手順を実行します。図 2-9 で示しているのは Cisco 831 ルータですが、この図は SOHO 91 ルータにも適用されます。この設置手順は Cisco 831 ルータおよび SOHO 91 ルータの両方に適用されます。

図 2-8 壁面へのルータの設置



80288



1	No.6 の 3/4 インチ ネジ×2	5	ルータと電源装置間の最大距離 (6 フィート [1.8 m])
2	壁の 2 本のネジ間の距離 (7 5/8 インチ [19.35 cm])	6	電源装置を置く水平面
3	Cisco 831 ルータ	7	ネジと壁の間の距離 (1/8 インチ [0.32 cm])
4	マウントブラケット		

次の手順で壁面にルータを設置します。

- 
- ステップ 1** 2 本のネジを 7 5/8 インチ (19.35 cm) の間隔をとって、また壁から 1/8 インチ (0.32 cm) 離して固定します。
- ステップ 2** 図 2-9 に示すようにルータをネジにかけます。
- ステップ 3** 電源装置を水平な面に置きます。
-

## Web サイトへの接続

ルータは、最も一般的なタイプのインストールに対して動作するように設定されています。ルータに接続した PC にログインして Web ブラウザを開き、Web サイトに接続します。Web サイトに接続している場合は、セットアップが完了しているのでルータを使用し続けることができます。

Web サイトが表示されない場合は、ルータが接続しているブロードバンド モデムまたはイーサネット スイッチが動作しているか確認して、もう一度試してみます。それでもなお Web サイトに接続できない場合は、「[Web サイトに接続できない場合の対応](#)」(p.2-26) に記載されている手順を実行してください。

## Web サイトに接続できない場合の対応

インターネットに接続できない場合は、出荷時のデフォルト設定を使用して、またはルータのインストール後新しい Cisco IOS ソフトウェアをロードしている場合は、Cisco Router Web Setup (CRWS) ソフトウェアを使用してルータを設定できます。CRWS ソフトウェアはルータにロード済みです。このソフトウェアは、ルータに接続した PC から実行します。

## CRWS ソフトウェアの起動

次の手順で CRWS ソフトウェアを起動します。

---

**ステップ 1** ルータの内蔵イーサネット スイッチ ポート (1 ~ 4 のいずれか) に接続した PC の 1 つを起動 (再起動) します。

**ステップ 2** Web ブラウザを開きます。ブラウザがオンライン モードで動作するように設定されていることを確認します。

- Internet Explorer の場合は、[ファイル] メニューをクリックして [オフライン作業] オプションのチェックが外されていることを確認します。
- Netscape では、[ファイル] メニューのデフォルト選択がオンラインでの作業に設定されていることを確認します。

**ステップ 3** 次の URL を入力します。

`http://10.10.10.1`



**ヒント**

URL `http://10.10.10.1` を入力しても CRWS のホーム ページが表示されない場合は、次の作業を行って PC とルータの接続をテストします。

1. ルータの OK LED が点灯していることを確認し、ルータと PC 間のケーブル接続をチェックします。
2. それでもなお CRWS のホーム ページが表示されない場合は、ブラウザの [オフライン作業] オプションが無効になっていることを確認します。
3. なお Web ページが表示されない場合は、PC が自動的に IP アドレスを受信するように設定されているかどうかを確認してください。Cisco.com にある『Cisco Router Web Setup User Guide』に記載されている手順を実行してください。
4. PC が自動的に IP アドレスを受信するように設定されていても Web ページが表示されない場合は、[スタート / ファイル名を指定して実行] を選択して [ファイル名を指定して実行] ウィンドウに `winipcfg` と入力し、[IP アドレス] フィールドの IP アドレスを調べます。アドレスは `10.10.10.X` の形式です。ここで X は 2 以上の数字で、たとえば `10.10.10.2` や `10.10.10.3` などのようになります。IP アドレスがこの形式でない場合は、[アダプタ] フィールドにイーサネット アダプタ名が表示されているか確認します。表示されていない場合は、「PC 設定の確認」(p.2-20) のステップ 3 に戻り、プロトコルのリストに TCP を追加します。次に「CRWS ソフトウェアの起動」(p.2-26) の始めに戻り、手順を完了します。

**ステップ 4** Cisco Router Web Setup ホーム ページの **Router Setup** リンクをクリックし、表示されたページに記載されている手順を実行します。

**ステップ 5** CRWS を使用してセットアップを完了したら、接続された PC を使用して別の Web サイトに接続します。Web サイトに接続するとセットアップは完了で、ルータを使用し続けることができます。

## ■ Web サイトに接続できない場合の対応